

高山市旅館ホテル連絡協議会

会長 山田 幸一 様

高山市観光課長

## 「持続可能な観光に関する勉強会」の開催について（ご案内）

平素より、市政運営に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当市を訪れる訪日外国人旅行者数が急回復する中、旅行者のマナーや一部地域における混雑、災害時における旅行者対応等、観光に係る課題が顕在化してきております。

こうした課題に対応するため、市では本年度「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域の実現に向けた観光課題対策事業において、旅行者に対するマナー啓発から災害時の対応力の強化まで広範な観光課題に対して施策の実施を予定しております。

本事業の実施に際して、連携が想定されます団体・事業者様を対象として事業内容の説明、「持続可能な観光」に係る昨今の状況のご紹介及び全般的な意見交換を行う勉強会を開催いたします。つきましては、時節柄お忙しいところ恐れ入りますが本勉強会にご出席賜りたくご案内申し上げます。

## 記

## 1. 開催日時等

**（第1回）日時：令和6年10月3日（木） 10:00～11:30**

場所：高山市役所 行政委員会室（高山市花岡町2丁目18番地）

内容：・観光課題対策事業説明（市観光課）

・「持続可能な観光について」（観光庁観光産業課 専門官 大野 一 氏）

**（第2回）日時：令和6年10月18日（金）13:30～15:00**

場所：高山市役所 中会議室（高山市花岡町2丁目18番地）

内容：・「データで読み解く高山市観光の現状」（東洋大学教授 古屋 秀樹 氏）

・各ご出席者より観光に係る課題の共有

※現場の具体的な課題にご精通されている方にご出席いただけますと幸いです。

※オンラインでのご出席も可能です。

## 2. ご出欠の回答

右記、二次元コードまたは別紙を用いてFAXにてご回答をお願いいたします。



## 3. その他

観光課題対策事業の実施内容について、関係者の皆さまよりご助言及びご意見を聴取するため令和6年11月～令和7年2月にかけて月1回程度、「観光課題対策事業 実務者懇話会（仮称）」の開催を予定しており、当該懇話会開催につきまして、別途ご案内いたします。

以上

お問い合わせ先（高山市観光課）	
課長	山郷 三昭
係長	葛井 孝弘
担当	山腰 明彦
連絡先	直通 0577-35-3346

送付先：高山市観光課 山腰 宛

FAX 0577-35-3167

持続可能な観光に関する勉強会 出欠報告書

何れかに○印をしてください。

○第1回 令和6年10月3日(木) 10:00~11:30

- ・ 出席します
- ・ 欠席します
- ・ オンライン出席

○第2回 令和6年10月18日(金) 13:30~15:00

- ・ 出席します
- ・ 欠席します
- ・ オンライン出席

※オンライン出席をご選択いただきました場合、後日、ZOOM URLをお伝えいたします。

団 体 名 : \_\_\_\_\_

出席者氏名 : \_\_\_\_\_

出席者役職名 : \_\_\_\_\_

連絡先 : TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ E-MAIL \_\_\_\_\_

※ お手数お掛けいたしますが、9月30日(月)までにご報告をお願いします。

提出先(問合せ先)

〒506-8555 高山市花岡町2丁目18番地

高山市観光課 担当:山腰

TEL:0577-35-3346 FAX:0577-35-3167

E-mail:osd@city.takayama.lg.jp

# 令和6年度「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域の実現に向けた観光課題対策事業 概要

観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」（先駆モデル型）活用事業

- 令和5年度に実施した市民アンケートにより、外国人旅行者の急回復に伴うマナー問題等の観光課題が明らかとなった
- 豪雨や地震等の災害が頻発する中、旅行者への情報発信等について、更なる対応の充実が必要となっている
- これらを踏まえ、本事業において観光に関する諸課題への対策を講じ、「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域の実現を目指す

## 【実施内容】

### 1. 「市民生活」と「観光振興」の調和を図るために必要となる施策の具体化と実行

- ①旅行者に提唱する旅行スタイル（TAKAYAMA STYLE(仮称)）の方針・具体案の作成  
（白川郷線等のバス車内におけるマナー啓発動画の制作・放映等）
- ②混雑緩和を目的とした、支所地域の観光スポット及び二次交通情報の発信強化  
（周遊バスの利用促進等）
- ③市民の方々に向けた観光による経済効果等の分かりやすい広報



(例)外国人旅行者の多いバス路線の車内ディスプレイにおけるマナー啓発動画の放送

### 2. 観光客のV字回復による喫緊の受入課題の解消

- ①既存の旅行者対応計画等の課題の整理・分析、見直し方針作成
- ②災害時の最適な情報発信の仕組みの検討
- ③体系的な情報伝達経路・発信手段（デジタルサイネージやWEB媒体）の確立  
（高山駅周辺のデジタルサイネージ等を活用した情報発信の実証）



(実施イメージ)  
マナー啓発例 京都市  
「MIND YOUR MANNERS」



(実施イメージ)  
市民対象 紹介事例 京都市  
「私たちの暮らしと京都観光」

### 3. 指標設定及び指標に基づいたマネジメントサイクルの構築

- ①マネジメント指標の設定  
（例）市民の旅行者歓迎度、観光関連事業従事者の仕事の満足度 等
- ②指標の基となるデータ収集及び分析手法の検討
- ③「持続可能な観光推進会議」の開催  
（参加者想定）観光関連団体、公共交通事業者等



JR高山駅周辺のデジタルサイネージやSNS等による多言語での情報発信に向けた整備を実施